

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知ろう	奥村先生	月 日 ()	
学 生 番 号	学 部 ・ 学 科	学 年	氏 名
09073042-9	農 応用生命科学科	1年	立松 彩

私が今までの講義の中で最も印象に残ったのは、藤原教授の講義の中で
 出てきた、Serendipity という言葉でした。私が今までの研究への
 イメージは、少し偏見で前向きに自身の専門分野を研究に専念して、理系で何かの
 発見をしていくというものでした。しかし、理系の学部へ入学してからは、やがて世界の
 誰かが発見したかもしれない。しかし、講義を聞いて、宇宙の研究の成果が
 化学の分野の発見に重要な役割を果たしている。又、その発見により
 研究者の研究分野が変わっている。そしてその発見が大学院生
 の失敗にちなむものだったりということもよくあり、少し身近に感じることが
 できました。もちろん、偶然に何かの発見がもたらされることもありますが、
 身近に感じることには、興味や格段に増えています。

炭素数が10連うたが、その物質を溶媒に溶かした時の色や匂い、
 こと、炭素の球状をつくる炭素分子が六角形に繋がって五角形は
 変わって六角形のみ増えること、ナノテクノロジーの分野に
 おける度の高レベルの技術が宇宙からのものがあること。とて
 面白かったです。私も4年になんかこんな実験をしてみたい
 と思います。失敗してもそれは何かの発見につながるかもしれない
 と思っています。今までは知識を身に付けていました。